

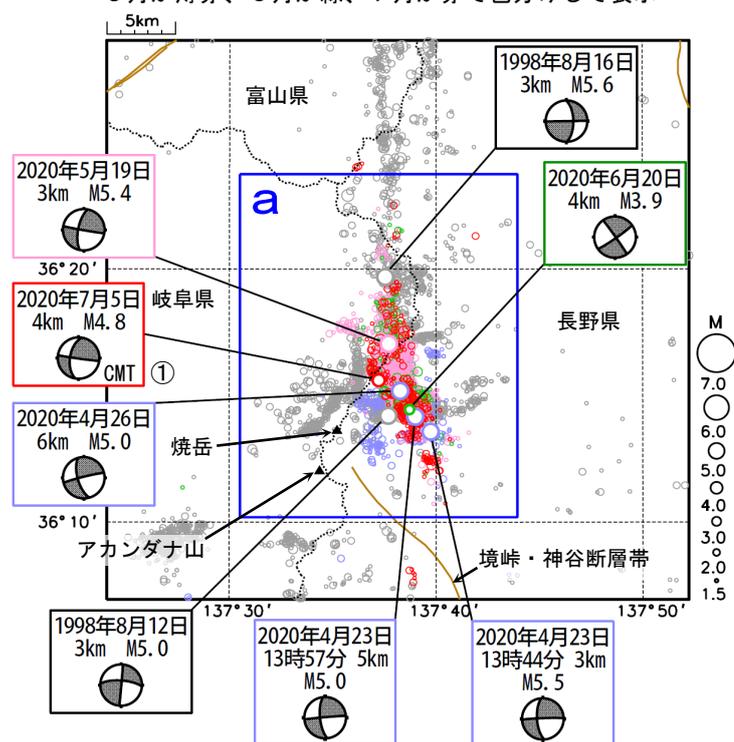
長野・岐阜県境付近（長野県中部、岐阜県飛騨地方）の地震活動

長野・岐阜県境付近（長野県中部、岐阜県飛騨地方）の地殻内（領域a）では、2020年4月から一連の地震活動が続いており、最大震度1以上を観測する地震が7月は43回（最大震度3：3回、最大震度2：9回、最大震度1：31回）発生した。領域a内で7月に発生した地震の内、最大規模の地震は7月5日15時09分に発生した長野県中部の地震（M4.8、最大震度3；図中の①の地震）であった。この地震の発震機構（CMT解）は、北北西－南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。また、この地震の震央の近傍でほぼ同時刻に長野県中部の地震（M3.8、M3.6）が、同日15時10分に岐阜県飛騨地方の地震（M4.0）が発生した。

震央分布図

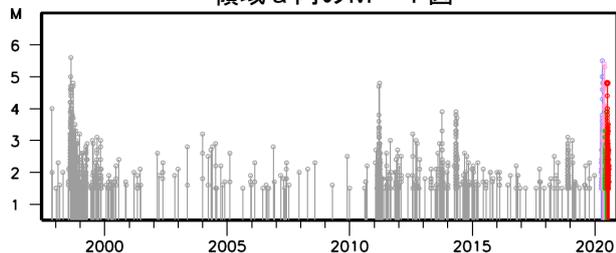
（1997年10月1日～2020年7月31日、深さ0～30km、M≥1.5）

地震は2020年3月以前が灰色、4月が薄青、5月が薄赤、6月が緑、7月が赤で色分けして表示



茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

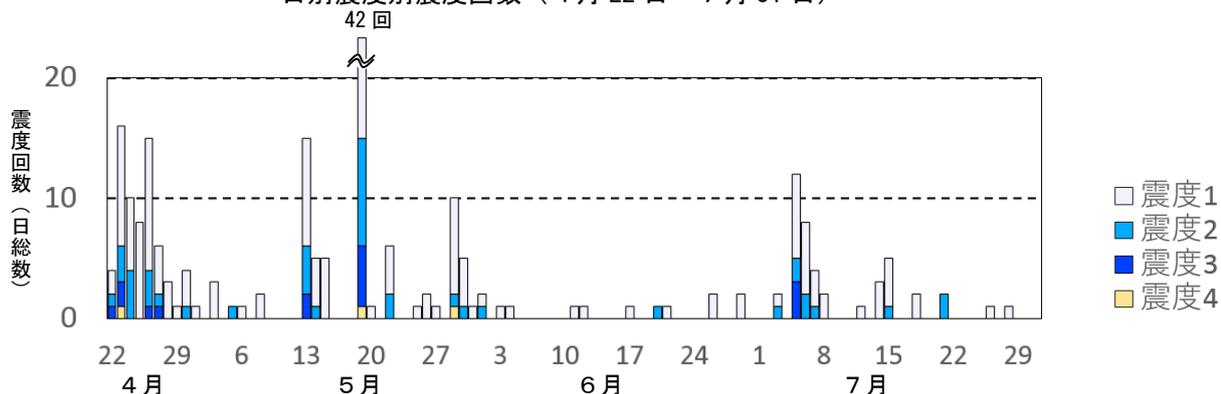
領域a内のM-T図



日別震度別回数表
（2020年4月22日～7月31日）

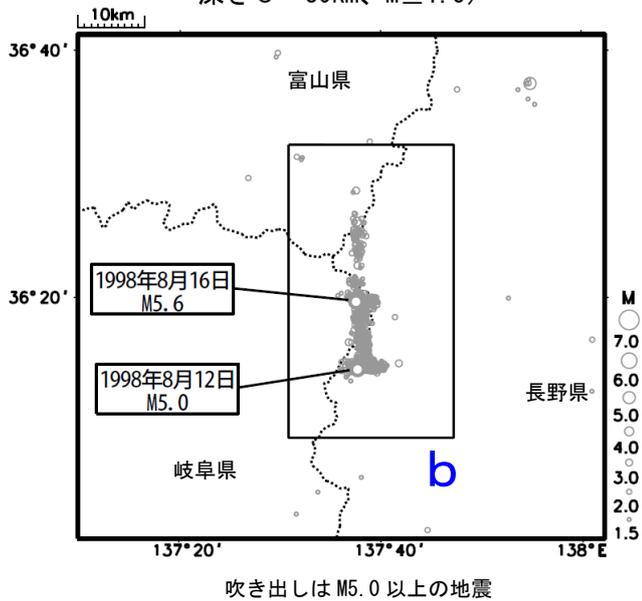
月日	震度1	震度2	震度3	震度4	合計
4月合計	48	13	5	1	67
5月合計	74	19	7	2	102
6月合計	11	2	0	0	13
7/1	0	0	0	0	0
7/2	0	0	0	0	0
7/3	1	1	0	0	2
7/4	0	0	0	0	0
7/5	7	2	3	0	12
7/6	6	2	0	0	8
7/7	3	1	0	0	4
7/8	2	0	0	0	2
7/9	0	0	0	0	0
7/10	0	0	0	0	0
7/11	0	0	0	0	0
7/12	1	0	0	0	1
7/13	0	0	0	0	0
7/14	3	0	0	0	3
7/15	4	1	0	0	5
7/16	0	0	0	0	0
7/17	0	0	0	0	0
7/18	2	0	0	0	2
7/19	0	0	0	0	0
7/20	0	0	0	0	0
7/21	0	2	0	0	2
7/22	0	0	0	0	0
7/23	0	0	0	0	0
7/24	0	0	0	0	0
7/25	0	0	0	0	0
7/26	1	0	0	0	1
7/27	0	0	0	0	0
7/28	1	0	0	0	1
7/29	0	0	0	0	0
7/30	0	0	0	0	0
7/31	0	0	0	0	0
合計	164	43	15	3	225

日別震度別震度回数（4月22日～7月31日）

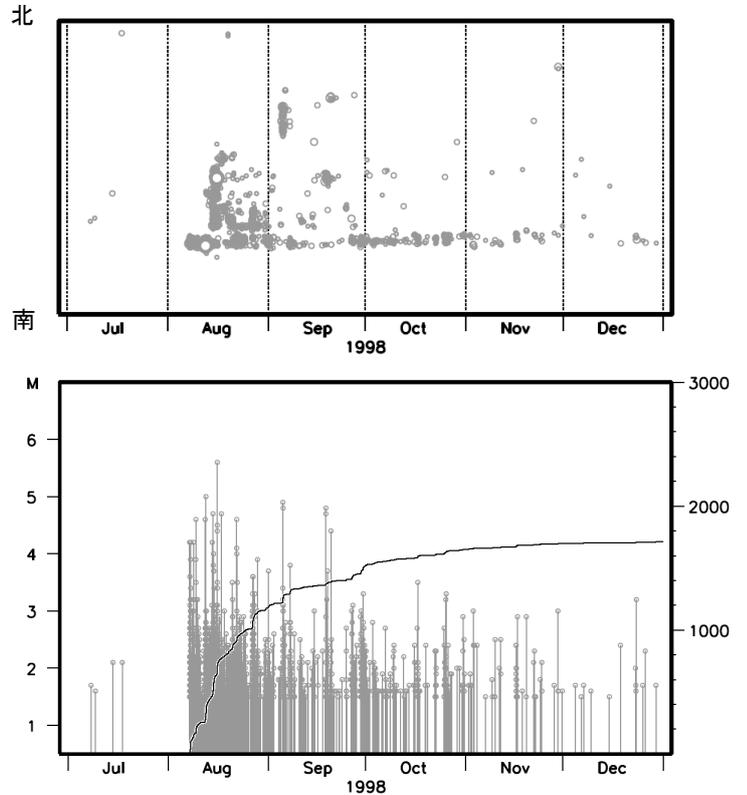


今回の地震活動と1998年の地震活動を比較してみると、今回の地震活動では7月も、7月5日のM4.8の地震で一時的に活発になったが、概ね1998年の地震活動の範囲内に収まっている。また、活動開始から約4ヶ月が経過し、1998年の時と同様に活動は消長を繰り返しながら推移しているが、7月5日のM4.8の地震を含む活発な活動により今回の地震活動の積算回数は1998年の時よりも多くなった。

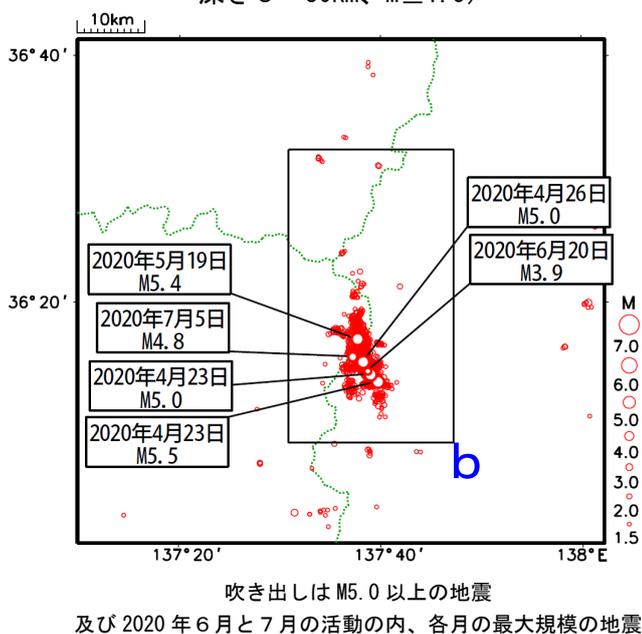
1998年の地震活動の震央分布図
(1998年7月1日～12月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$)



左図領域 b の時空間分布図（南北投影）（上）、
及び、M-T 図と回数積算図（下）



2020年の地震活動の震央分布図
(2020年3月1日～7月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$)



左図領域 b の時空間分布図（南北投影）（上）、
及び、M-T 図と回数積算図（下）

